

平成 26 年度学内教育 GP プログラム事業経費 成果報告書

区 分	継続型
事業名称	出る杭を育てる：タイアップ・キャリアセミナー
取組代表者名 担当者名	三浦 徹（文教育学部、教授、取組代表） 永瀬 伸子（生活科学部、教授） 最上 善広（理学部、教授）

1. 成果の概要

実施した事業の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、当初設定した目的・目標に照らし、3 ページ以内で、できるだけ分かりやすく記述すること。必要に応じ、図表を用いても構いません。

学生支援 GP「出る杭を育てる：企業で女性が輝くための学生支援」（20-23 年度）において実施した「タイアップ・キャリアセミナー」を継続し、企業で活躍し起業する女性リーダーを育成する。

本事業は、出る杭 GP 事業のうち、タイアップ・キャリアセミナーを中心とし、上記学生サークル「お茶大ビジネスフォーラム」（略称お茶ビズ、代表 2014 年度文教育学部 4 年高橋里奈）と連携して、学生の主体的なキャリアアップ事業を展開する。26 年度は、①お茶大生による「よくわかるマーケティング（ビジネス・プラン）講座（5 回、7 月）と②ビジネス・プラン発表会（10 月 25 日、OG らゲストとのキャリア懇談会を含む）を実施した。学生サークルおよび（株）コラボラボと連携して、企画・運営にあたり、坪田秀子学長特別顧問（株式会社ロレアル前副社長）の協力もえた。講座・セミナー参加学生（12 名）は 3 つのグループを組み、7 月までに 3 つのプラン（お茶大売り子さん事業、お茶大クッキングスクール、ベジエット）が作成された。

これをもとに最終発表会では、プランを「Primary Cooking(プライマリー・クッキング)～学童保育×料理教室～」(生活科学部 3 年佐藤歩実、文教育学部 1 年宮崎真帆、兵後彩果)に統合した。これは、働くママと子どものために、料理教室をかねた学童保育を提供し、一緒に料理をつくって食べ、21 時まで学童保育する、というプランである。子どもにとっては、放課後に寂しい思いをしないですむというだけでなく、小さいころから料理の知識と経験をつけ、栄養ある食事を適切な時間にとることができる、親にとっては、子どもを家にひとりで留守番させる心配がなくなり、仕事で帰りが遅くなっても子どもが夕食に困らない、という現実的かつ夢のあるプランである。発表ののち、キャリア懇談会（大門ゆかり氏＝英会話塾を経営、およびお茶ビズ OG の赤城さん＝パソナをゲストとする）を開催した。

当該プランはビジネスコンテストに応募し、第 3 回「ちばぎん・学生版ビジネスアイデアコンテスト」で優秀賞（1 点）を、第 5 回「ビジネス創造コンテスト」（品川ビジネスクラブ・品川区共催）では優秀賞（2 点）を、ダブル受賞した。プランでは、共働き世帯が多く学童保育のニーズがある横浜市たまプラーザなど候補地の立地条件を調査し、1 月の最終審査では息のあったプレゼンが喝さいを浴びた。

報告は大学ウェブサイトに掲載した。http://www.ocha.ac.jp/news/h270326_3.html

本事業は、学生自身の企画・運営によるキャリアアップであることが大きな特徴である。本事業のセミナー参加者のなかから、次年度の企画運営者を募り、バトンリレー方式で事業を継続している。プラン発表会には、お茶ビズの卒業生も駆けつけ、懇親会を開催し、現役と OG の交流の場となっている。起業家であるコラボラボ横田響子代表の実践的なアドバイスが得られることは、お茶ビズにとっても、セミナー参加者にとっても大きな刺激・魅力である。他方、授業やサークルや各種キャリアセミナーがメジロ押しのなかで、半年にわたってグループで作業をつづけることは容易ではなく、持続的な意志とコミュニケーション力とリーダーシップが必要となる。最終発表会まで到達した学生は、それだけの「出る杭」力を養ったといえる。このなかから、次期のお茶ビズメンバーが生まれ、企画者（伝授する側）となって、その力を発展させている。

2. 今後の取組み継続に係る実施体制及び資金確保の状況について

本経費は、学外の競争的資金等によるプロジェクトで、プロジェクト実施期間終了後も引き続き取組みを継続するための体制を整備するために配分されたものです。本経費の支援期間終了後の実施体制及び資金確保の状況について記述してください。

27年度は、お茶大ビジネスフォーラムと（株）コラボラボ横田響子氏の連携によって、本事業（「マーケ講座」、ビジネスプラン発表会、学外コンテストへの応募）を継続する。予算は、グローバル女性リーダー育成研究機構（グローバルリーダーシップ研究所）の支援をえて、運営にあたっては、学生・キャリア支援課の協力をえることで、関係部署の了解をえている。担当教員は、三浦徹、永瀬伸子があたる。